

彦根市立初の認定こども園 来春開園へ起工式

彦根市立では初設置となる認定こども園の起工式が三十日、同市平田町であった。地域の待機児童の解消が目的で、来年二月に園舎を完成させ、四月の開園を目指す。

仮称は平田認定こども園で、平田幼稚園の園庭に木造二階建て、延べ床約千八百四十平方メートルの園舎を建てる。

木のぬくもりが感じられるよう、県産の木材をふんだんに使い、初年度の定員は約二百人。保育室や遊戯室のほか、保護者たちが育児相談できる地域子育て支援室を設ける。



平田認定こども園のバース図＝彦根市提供

市によると、市内には四月一日現在、六十三人の待機児童がいる。一九七四（昭和四十九）年築の平田幼稚園は老朽化が進んでおり、待機児童の解消を兼ねて新たにこども園を置くことにした。

開園後、来年八月ごろまでに、既存の園舎の解体や園庭の工事などを終える。

起工式には市や施工業者ら七十四人が出席。大久保貴市長は「待機児童の解消にはソフトとハード両面の取り組みが必要。工事の安全を願う」と述べた。

（木造康博）